



# 校外委員会だより

平成 27 年 7 月 21 日  
横浜市立西が岡小学校  
PTA 会長 森 和弘  
校外委員長 小藤田祐佳

スクールゾーンの危険箇所が改善されるまで

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>① アンケート PTA1 月/自治会 2 月</p> <p>危険箇所がないか、学校・自治会を通じてアンケート実施。<br/>寄せられた情報の中から、優先度の高い 4 か所を選定。</p> | <p>② 現地確認 5 月</p> <p>泉警察・泉区役所・泉土木事業所の方々と学校長・校外委員が一緒に現地へ足を運び状況を確認。改善策について案を出し合いました</p> | <p>③ 対策協議会 6 月</p> <p>泉警察・泉区役所・泉土木事業所・自治会・町内会の方々と共に協議し、具体的な改善策を決定しました。</p> |
|--|---|--|



6 月 1 9 日(金)に行われた西が岡小学校スクールゾーン対策協議会危険箇所結果を裏面でお知らせします。

## 旗振り誘導研修会に参加しました!!

♪♪～研修会の内容を皆様にお知らせします～♪♪

### ■まずは、旗振りの前にチェック!!

☆車から見やすく目立つ服装で、動きやすくかかとのない靴を着用する。

### ■旗振り誘導者の立つ位置は・・・??

☆自動車からよく見える位置に立ち、道路には出ないようにする。

☆歩行者や自転車の通行の妨げになる場合や、看板や電柱の陰になる場所をさける。

### ■横断旗の使い方は・・・??

☆児童が飛び出さないように旗を地面と水平に持ち、児童が歩道ギリギリの所で待たないよう声掛けをする。

☆車に止まってもらう時は、左右の安全を確かめ、旗を突然道路に出さず（車は急には止まれません!!）

いったん頭上に上げてドライバーに合図をし、左手を使って児童が飛び出さないように防ぐ。

☆自動車が止まってくれたら左右の安全をもう一度確認し、旗を道路に出して児童に手を上げさせて渡らせる。

☆児童が渡りきったら、左手で横断歩道をふさぎ、後からくる児童を止める。

### ■注意することは・・・??

☆安全第一、あわてない。曖昧な動作はわかりづらく大変危険！自信をもって・・・

①わかりやすく ②大きく ③はっきりと ④てきぱきと 行おう!!

☆自分の身を守ろう!!（車道には出てはいけない）

☆大型車は止めない。大型車の後続車が前方を確認できず追突したり、横断中の児童に気付かずに大型車を追い越して事故につながる可能性もあるので、大型車を止める事は避ける。



**最後に・・・大切な児童を守る為には、保護者の皆様が正しいマナーの模範を日頃から子どもに示してあげて下さい!!**

## 《対策結果》

### 〈領家1丁目領家キッズ〜クリストファー教会前 横断歩道〉

- クリストファー教会前横断歩道の表示が薄いため、運転手から歩行者を発見しづらい
- 電柱幕の場所が効果的ではない
- 横断歩道の旗箱が破損している

#### 【対策】

- ① 横断歩道を再塗装する
- ② 坂の上からくる運転手に注意喚起をするために左側電柱に連続して2箇所電柱幕を設置する
- ③ 横断旗の箱の破損は新しいものと交換した

### 〈領家1丁目公園前 横断歩道〉

- 公園前横断歩道の表示が薄いため、運転者から歩行者を発見しづらい
- この場所は西が岡から領家・岡津へ抜ける見通しのよい一直線の道路で、スピードを出す車も多い

#### 【対策】

- ① 横断歩道を再塗装する
- ② 横断する際の『一旦停止』『左右確認』『注意して渡る』という認識を高められるように、子どもたち自身が公園側の側壁に注意喚起のプレートを設置し、子どもの意識向上を図る



## にしがおかしょうがっこう 西が岡小学校

### 〈西が岡3丁目公園前 横断歩道〉

- 今年1月、公園側から横断しようとした子どもと車の事故が発生した
- 弥生台〜山手台のバス通りの抜け道になっており、スピードのついた車が横断歩道に接近してくることが多い

#### 【対策】

- ① 公園側から子どもが立っていても見えるように植え込みの高さを全体的に低くした
- ② 運転手から見えにくい電柱幕を交換する
- ③ 子どもたち自身で注意喚起するプレートを掲示する活動を通じ、子どもたちの意識向上を図る

### 〈白百合団地バス停付近 交差点〉

- 鋭角な曲がり角で子どもが車の存在を認識しにくい一方で、運転手も一旦停止した位置から子どもを発見しづらい

#### 【対策】

- ① 子どもたちへの一旦停止呼びかけとして、“飛び出し注意”のプレートを設置する
- ② 中田方面から下りてくる車への注意喚起として、“子ども飛び出し注意”“スピード落とせ”の電柱幕設置を子どもたちと一緒に依頼する

行政・地域の方々は、児童のみなさんの安全を温かく見守り、  
日々真剣にスクールゾーンの安全を考え、対策を行ってくださっています。

今一度ご家庭でも親子で話し合い、安全について考えてみましょう。

今年の夏休みに、クイズ&アンケート“もうすぐ夏休み交通安全について考えよう”を実施します。

アンケートでいただいたご意見は、次年度の協議会の改善提案につなげてまいります。

